

平成30年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成30年2月22日(木) 午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第6会議室

議題(1) 平成30年度予算概要について

委員 平成29年度予算と比較すると人口と給水戸数が減少しているが、このような予測はどのように立てているのか。

事務局 人口の減少は帯広市においても帯広市においても例外ではありませんが、給水戸数は横ばいの状況が続いています。予算作成にあたっては収益をやや厳しく設定するため、減少傾向の数値になっています。

委員 公共工事の設計用労務単価が上昇しており、原油価格や諸材料の価格も値上がり傾向にあるが、そのような要素について平成30年度予算にどのように反映させているのか。

事務局 予算を編成する段階で、労務単価の上昇や物価上昇はある程度見込んでいます。積算したところ労務単価等の上昇率は想定の範囲内であり、平成30年度に計画している事業量の執行に影響はないものと考えています。

委員 技術の継承に関する取り組み内容についてお伺いしたい。

事務局 現在の取り組みとしては、GISという地図情報システム等を作成して、誰でも操作できるようにすることを目指しているほか、日本水道協会等の全国組織を通じた研修機会を設けて、職員に専門的な知識等を習得させることにより、技術の継承を図っているところです。

委員 帯広市が東日本大震災のような地震に見舞われた場合における災害用資器材の備蓄状況についてお伺いしたい。

事務局 2tと4tの加圧式給水車を1台ずつ、合計2台保有しています。
ほかに、トラックに積み込めるタイプの給水タンクにつきましては、約2tのもの5台と1tのものが1台あり、災害時に給水所を開設した際の応急給水場として使えるようになっています。